

新規就農者(自営) 新規学卒 3 楽しくおもしろい農業を目指す

氏名	吉田 寛爾さん(24才)
家族構成	両親
市町村	田村市
ホームページ	
就農形態	新規学卒



1 経営の概要

- (1) 主な営農部門と規模 : 施設トマト 40a、その他野菜(100品目) 1ha、
水稲 5ha
- (2) 労働力 : 本人 350日、父(50代) 350日、母(50代) 350日
- (3) 販売方法 : トマト: JA出荷、直売所、宅配(主に町内)
: 他野菜: 直売所、宅配
: 水稲 : JA出荷
- (4) 営農上の特記事項 : エコファーマーを取得し、減農薬、減化学肥料栽培に努め、安全で
安心な作物の生産・販売をしている。

2 プロフィール

- ・昭和60年 福島県田村市生まれ
- ・平成17年 農業短期大学卒業

3 就農の動機

小さい頃から父が農業をやる姿を見ていて、自分も農業をしたいという気持ちがあった。

4 就農時の取り組み

- (1) 就農を決意した理由
農業には自分の考えをすぐに実行できる面白さがあること。またやりがいのある職業でもある。
- (2) 就農するまでの経過と年数
中学の時に就農することを決意した。その目標に向かって農業高校、農業短大へと進んだ。
- (3) 技術の習得方法
- (4) 過去の農業従事経験
なし
- (5) 農地の確保方法
- (6) 資金の確保方法
ア 自己資金総額 万円
イ 借入れ
就農支援資金 60万円
- (7) 住宅の確保方法
ア 持ち家(実家)

- (8) 地域とのつきあい・所属団体など
ア 田村市消防団、たむら農ネットワーク
イ 積極的に参加するようにしている。
- (9) 生活を支えた補助的収入
なし
- (10) その他（努力を要したことなど）
なし



5 国・県・市町村等の受け入れ支援措置の活用

- (1) 利用した支援制度：就農支援資金、市からの新規就農助成金
(2) 役に立った支援：

6 就農しての感想

- (1) 良かったと思うことなど
・ 苦労して育てた野菜を収穫するとき。
・ お客さんから直接美味しいといってもらえたとき。
- (2) 苦労したことなど
夏場は早朝の朝取りから夜の袋詰めまで、1日中働き詰めで忙しい。夏場の人手不足に困っている。

7 今後の目標・方針

安定して生産するために講習会などに積極的に参加して栽培技術を向上させたい。
税関係の知識を深め、経営力をつけたい。

8 新規就農を目指す人へのアドバイス

どのような支援制度があるかなど、人頼みにせず自分でしっかり調べること。
先のことを考え、計画的に進めること。（過剰な機械投資などに走らない）